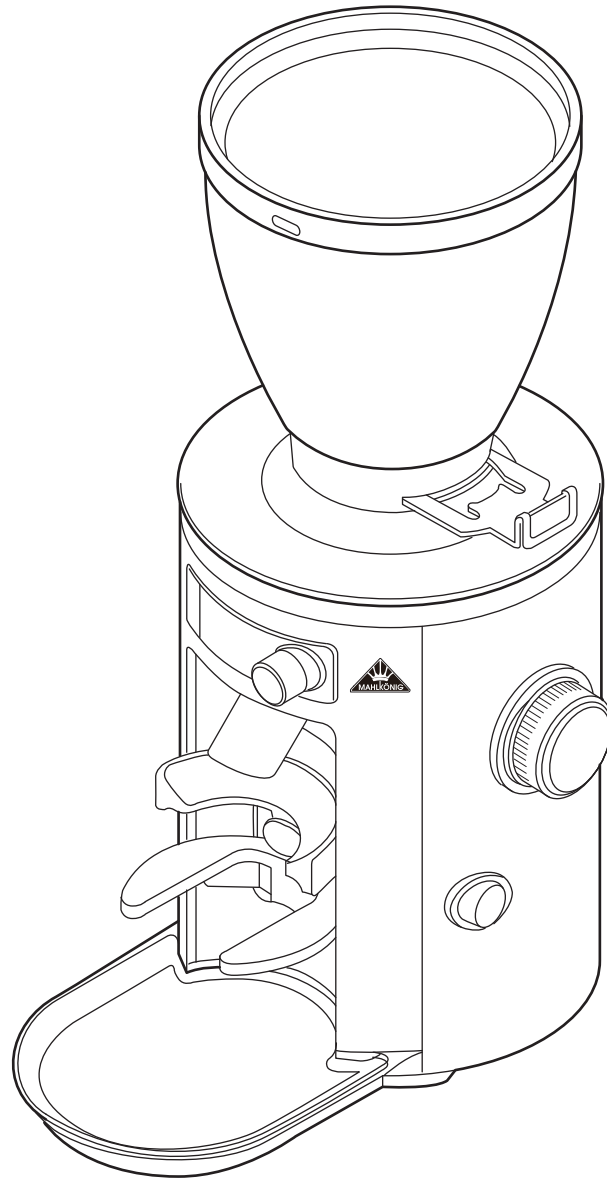


コーヒーグラインダー

# X54

## 取扱説明書



### 目 次

● 安全上の注意事項	1
● 各部の名称	2
● 操作方法	3～5
運転準備	3
操作方法	4
メッシュの調整	5
グラインド時間の設定	5
● 清掃	6
毎日の清掃	6
● 故障診断	7
● 仕様	8

このたびはMAHLKÖNIG X54コーヒーグラインダーをお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかりやすい場所に大切に保管してください。

# 安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。  
表示内容は次の通りです。



## 警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



## 注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

## 警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼してください。

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

装置を電源に繋ぐ際には、分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備がないようにしてください

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。

Y型取付機器の電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくは、その代理店又は同等の有資格者によって行わなければならない。

コード内部が断線したまま使用を続けると、火災の危険性があります。

電源は、漏電ブレーカーを施した専用のコンセントに接続してください。

機械に水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

吸・排気口などの隙間にもものを入れたり、手を近づけないでください。

小さなお子様や、不慣れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

修理作業は、専門の修理技術者以外に行わないでください。

廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼してください。

# 安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

## 注意

この機械は、コーヒー豆粉碎以外に使用しないでください。

振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。

電源は設置場所から 1m 以内に準備してください。

屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。

高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しないでください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。

機器の周辺は、およそ 10cm 以上の空間をあけて設置してください。

設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。

メーカー推奨の電源電圧でご使用ください。

メーカー推奨の水道水圧内でご使用ください。

本機の上に物を置かないでください。

製品にもたれたり、乗ったりしないでください。

運転中、ホッパー内や可動部に手を入れないでください。

清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

”洗浄が不十分な場合、異物混入やマシントラブルの恐れがあります。

マシンを使用する際は、必ずマニュアルに従ってマシンを洗浄してください。”

排出口に詰まりがないか始業時に点検を行ってください。

漏電遮断器は月に 1 回、動作確認してください。

クリーニング時には、必ず専用の薬剤をご使用ください。

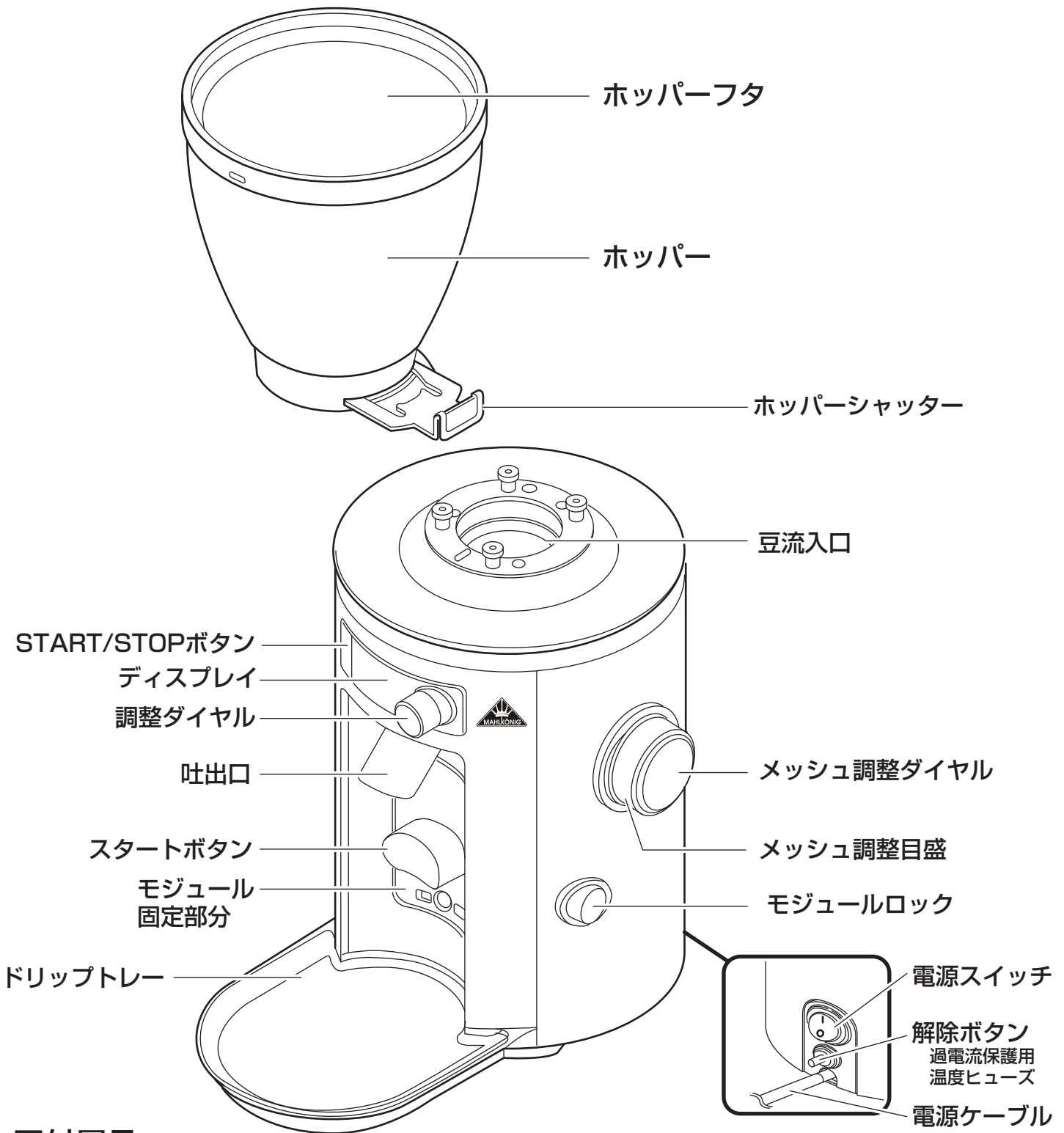
使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。

洗浄剤をドリンクに混入させないでください。

営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いてください。

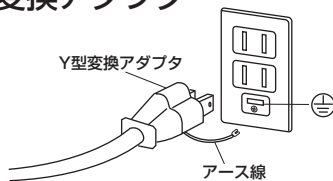
設置後に機器の移動は避けて下さい。漏水の原因となります。

# 各部の名称



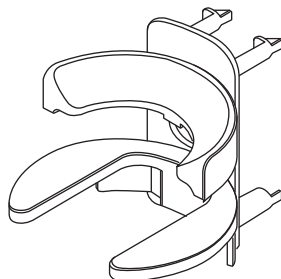
## ■付属品

### Y型変換アダプタ

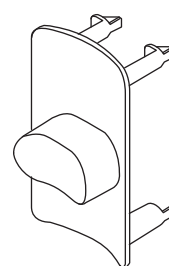


**⚠** 電源コードをY型変換アダプタに変更した時は、必ずアース線を接続してご使用ください。  
**ご注意**

### ポルタフィルター モジュール



### 容器モジュール



### カップ

# 操作方法

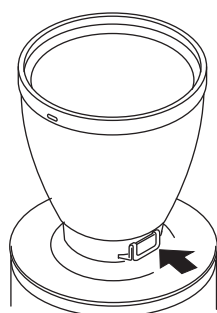
## 準備

### ■ホッパーの取り付け

**1** ホッパーシャッターが引き出されている状態か確認してください。  
ホッパーシャッターをマシンの凹部にスライドするように取り付けてください。

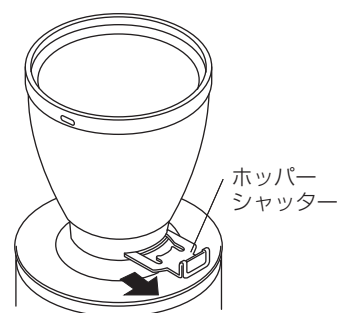


**2** ホッパーシャッターを押し込んでホッパーをロックしてください。  
コーヒー豆がホッパーからマシンに流入されます。



マシン内に残っているコーヒー豆を取り除きたい場合

刻印の箇所までホッパーシャッターを引き出してください。  
ホッパーがロックされたままマシンへの豆の流入が止まります。



※グラインダーはホッパーが取り付けられていないと、電源が入りません。

### ■ポルタフィルターモジュールの取り付け

※プラスドライバー、ポルタフィルターはお客様ご自身にてご用意ください。

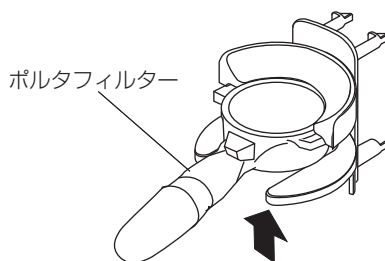
**1** プラスドライバーを使用してフィルターホルダーサポート固定ネジを反時計回りに回し緩めます。

フィルターサポートが下がるまで下におろします。

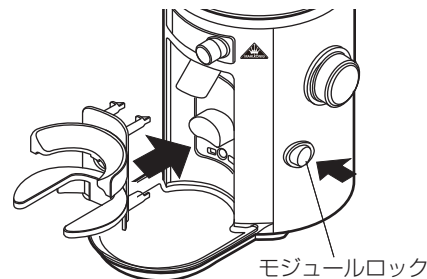


フィルターホルダーサポート固定ネジはモジュールの背面にあります。

**2** ポルタフィルターをセットしてフィルタホルダーサポートネジを時計回りに回して固定します。

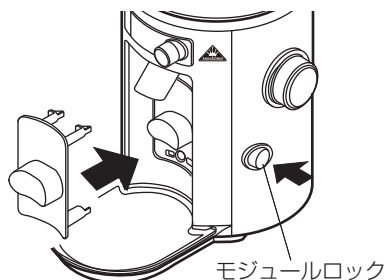


**3** モジュールロックを押しながらポルタフィルターモジュールの上下に気を付けてモジュール固定部分に取り付けてください。



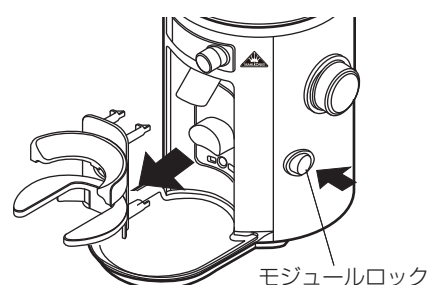
### ■容器モジュールの取り付け

**1** モジュールロックを押しながら容器モジュールの上下に気を付けて取り付けモジュール固定部分に取り付けてください。



### ■モジュールの取り外し

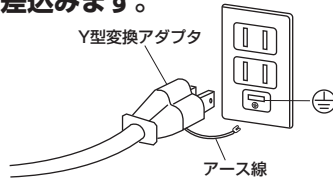
**1** モジュールロックを押しながらモジュールを手前に引き抜いてください。



## 操作方法

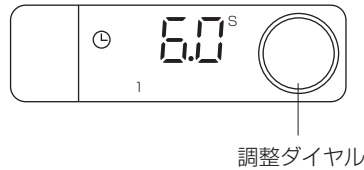
### ■ポルタフィルターへのグラインド

- 1** プラグをコンセントに差込みます。

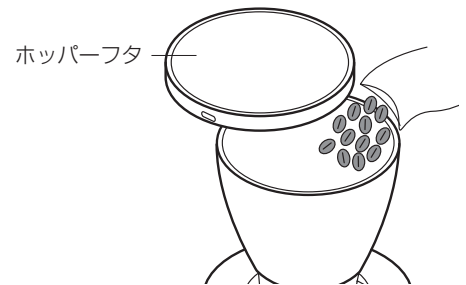


**⚠** 電源コードをY型変換アダプタに変更した時は、必ずアース線を接続してご使用ください。  
**ご注意**

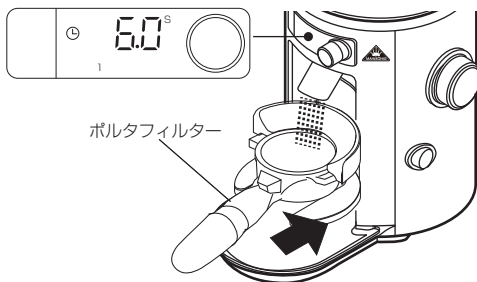
- 2** ディスプレイに待機画面が表示されたら準備完了です。調整ダイヤルを回転させて、レシピを選択してください。



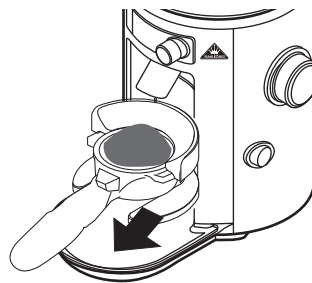
- 3** ホッパーにコーヒー豆を入れます。  
※コーヒー豆を入れたら必ずフタをしっかりと取り付けてください。



- 4** ポルタフィルターをセットすると、グラインドが開始されます。ディスプレイにはグラインド時間が表示されます。



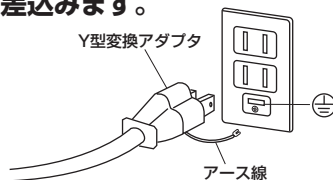
- 5** グラインドが終了したらポルタフィルターを取り外してください。



・豆の最大投入量は豆ホッパーの縁から約1cm下です。  
・グラインド中にポルタフィルターを外すと自動的にグラインドは中断します。

### ■容器へのグラインド

- 1** プラグをコンセントに差込みます。

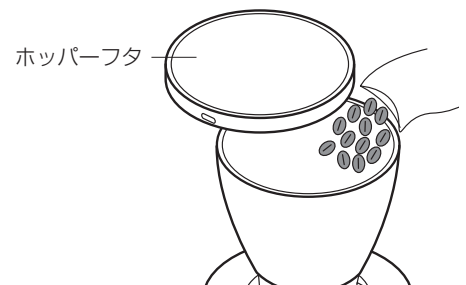


**⚠** 電源コードをY型変換アダプタに変更した時は、必ずアース線を接続してご使用ください。  
**ご注意**

- 2** ディスプレイに待機画面が表示されたら準備完了です。調整ダイヤルを回転させて、レシピを選択してください。



- 3** ホッパーにコーヒー豆を入れます。  
※コーヒー豆を入れたら必ずフタをしっかりと取り付けてください。



- 4** 粉を受ける容器をセットしてください。START/STOPボタンを押すとグラインドが開始されます。ディスプレイにはグラインド時間が表示されます。



- 5** グラインドが終了したら容器を取り外してください。

グラインド中にSTART/STOPボタンを押すとグラインドを中断します。

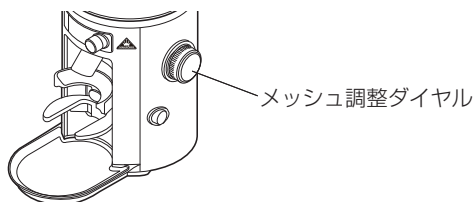


# 操作方法

## メッシュの調整

※メッシュは、メッシュ調整目盛り「01」に近いほど細かく、「35」に近いほど粗くなります。メッシュを細くする場合は、グラインダーを動作させながら調整してください。

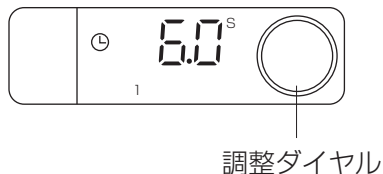
- 1** メッシュ調整ダイヤルを希望の位置まで動かしてください。



## グラインド時間の設定

※ディスプレイ画面は、約5秒間操作が行われないと、通常画面に戻ります。

- 1** 調整ダイヤルを回転させ変更したいレシピを選択してください。



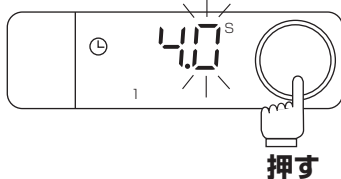
- 2** 調整ダイヤルを長押ししてください。設定された時間が点滅します。



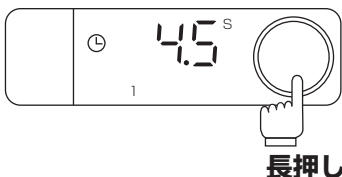
- 3** 調整ダイヤルを回転させて、希望のグラインド時間を設定してください。



- 4** 調整ダイヤルを1度押すと、位が移動します。



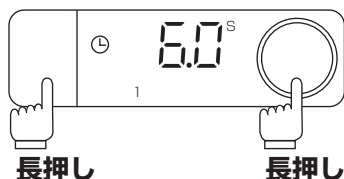
- 5** 調整ダイヤルを長押しすると、設定したグラインド時間が記録されます。1~4を繰り返してそれぞれのグラインド時間を設定してください。



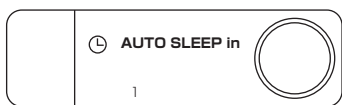
## スリープタイマーの設定

※ディスプレイ画面は、約5秒間操作が行われないと、通常画面に戻ります。

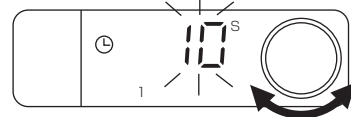
- 1** 調整ダイヤルとスタート/ストップボタンを同時に長押ししてください。



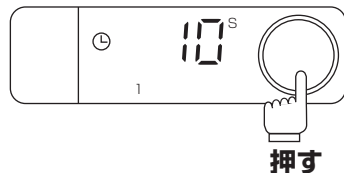
- 2** スリープタイマー設定モードに入ります。ディスプレイにAUTO SLEEP inが表示されます。



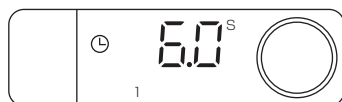
- 3** 調整ダイヤルを回転させて、希望の時間を設定してください。  
設定時間：3分、5分、10分、20分、30分



- 4** 調整ダイヤルをもう一度押し、設定した時間を確定させます。



- 5** ディスプレイは自動的に開始画面表示に切り替わります。



## 毎日の清掃



清掃の前には、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 1 以下の部品をブラシで清掃してください。  
・吐出口  
・モジュール
- 2 ドリップトレイを本体から前方に引き抜いてください。
- 3 外装とドリップトレイを湿ったタオルで拭き清掃してください。

### ■ホッパー清掃

※ホッパーにコーヒーの油分が付着すると安定したグラインドに悪影響を与えます。

- 1 ホッパーシャッターを刻印までスライドし、閉じてください。  
豆流入口に残っている豆が無くなるまで挽いてください。
- 2 ホッパーシャッターを最後までスライドし、ホッパーを取り外してください。  
場合によっては、一時的に豆を別の容器に移してください。
- 3 ホッパー内側の油分を乾いたタオルでふき取ります。
- 4 ホッパーを豆流入口に取り付けます。取り付けする際には、ホッパーを所定のくぼみにしっかりと取り付けてください。
- 5 ホッパーシャッターをスライドし、ホッパーを固定してください。



# 故障診断

## 故障診断

機械が故障した場合、または機械に異常を感じた場合は、直ちに使用を中断し、販売店に連絡の上、その指示に従ってください。

**修理を依頼される場合、次の事柄をご確認の上ご連絡ください。**

発生日時、発生時の状況（どのような時に発生したか）、具体的な症状

**また、修理を依頼される前に、次の事柄をご確認ください。**

故障症状	確認事項	処 置
グラインダーが豆を挽かず、ディスプレイが点灯しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグを適切に取り付けられたコンセントに差し込んでください。
	機器背面の解除ボタンが作動していませんか？	解除ボタンを押してください。
グラインダーが音をたてるが、豆を挽かない。	グラインダー内部にコーヒーが詰まっていますでしょうか？	挽き目を最大に設定します。豆挽きを開始します。グラインダーが豆を挽けるようになります。グラインダー動作中に希望する挽き目に合わせます。
	ポルタフィルター内の分量が多すぎて、グラインダー内に挽いたコーヒーが溜まっていますか？	吐出口を清掃します。挽き目を最大に設定します。豆挽きを開始します。グラインダーが豆を挽けるようになります。グラインダー動作中に希望する挽き目に合わせます。
	グラインダー内に異物が入っていませんか？	販売店またはお問い合わせ先にご連絡ください。
グラインダーが十分に細かく豆を挽かない。	グラインドディスクが摩耗していませんか？	販売店またはお問い合わせ先にご連絡ください。
グラインダーの抽出精度が落ちている。	吐出口が詰まっていますか？ グラインダーの内部に粉が滞留しすぎていませんか？	吐出口を清掃します。挽き目を最大に設定します。豆挽きを開始します。グラインダーが豆を挽けるようになります。グラインダー動作中に希望する挽き目に合わせます。
豆ホッパーが設置できない。	豆ホッパー受けに豆が入っていませんか？	豆を豆流入口から取り除いてください。
グラインダーが豆挽きを行わず、ディスプレイにエラーメッセージE001が表示される。	豆ホッパーが取り付けられていない。	ホッパーの取付を参照ください。
	エラーが解消されない場合	販売店またはお問い合わせ先にご連絡ください。
ディスプレイにエラーメッセージE010が表示される。	グラインドディスクが摩耗しており、挽き具合の品質が落ちています。	グラインドディスクを交換してください。
	エラーが解消されない場合	販売店またはお問い合わせ先にご連絡ください。

### ■最大許容運転サイクルを超えると、安全装置が作動する場合がございます。

グラインダーには過電流防止遮断機があり、過電流が起きた時にグラインダーの電気回路を遮断して使用不可になります。グラインダーを復旧させるには電源をOFFにして解除ボタンを押してください。

	MAHLKÖNIG コーヒーグラインダー
モデル	X54
外形寸法 (mm)	幅 190 / 奥行 280 / 高さ 255 (ホッパー取付時：高さ425) 電源コード長さ 約1.5m
重量 (約)	8kg (ホッパー含む)
ホッパー容量 (約)	500g
電源：消費電力	単相 100V：50/60Hz 120W
能力 (約)	1~2.8g/s
最大許容豆挽き時間	10s/50s休止
最大許容豆挽き容量	1.7kg/日 (※豆と挽き具合により変動します。)

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。



# 製品保証書

型式	MAHLKÖNIGコーヒーグラインダー X54	機番	保証期間
お客様様	お名前	様	お買上げ日より <b>1</b> 年
	ご住所 〒		お買上げ日
	電話 ( )	—	* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 ( ) —			

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。  
ご販売店さまへ：\*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
  - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
  - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
  - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
- 商品の補修用性能部品の保有年数は、製造打ち切り後5年。

**ラッキ-コ-ヒ-マシン** 株式会社

事業所については  
こちらをご覧ください

